

公益社団法人民間総合調停センター 御中

和解あっせん・仲裁申立書

申立年月日：平成 年 月 日

申立人	住所 〒***-**** 大阪府大阪市〇丁目〇番〇号 (電話 **-****-****) (会社名・代表者名) 大阪 太郎 印 (生年月日) 昭和**年**月**日 (**歳)
申立人	住所 〒 (電話) (会社名・代表者名) 印 (生年月日) 年 月 日 (歳)
代理人	住所 〒 (電話) 代理人 印
相手方	住所 〒***-**** 大阪府大阪市〇丁目〇番〇号 (電話 **-****-****) (会社名・代表者名) 総合 二郎 印 (生年月日) 昭和**年**月**日 (**歳)
相手方	住所 〒 (電話) (会社名・代表者名) 印 (生年月日) 年 月 日 (歳)

※ボールペンまたは万年筆で記入して下さい。
※本申立書は相手方に送付します。

第1. 申立の趣旨 （相手方に求める結論を記載して下さい。）
相手方は、申立人に対し、100万円及びこれに対する平成21年4月1日から
支払済みまで年5分の割合による遅延損害金を支払う
との 和解あっせん・仲裁判断（どちらかを○で囲んでください） を貴センター規則に基づいて求める。
第2. 申立の理由 （紛争の概要と申立を根拠づける理由を記載して下さい。）
1 申立人は、相手方に対し、次のような内容により、金銭を貸し付けた。
貸付日：平成20年12月24日
貸付金額：100万円
利息：なし
返済日：平成21年3月31日
2 しかしながら、前項の返済日を過ぎても、相手方は返済をしない。申立人は、 何度も督促を行ったが、相手方は「もう少しだけ待って欲しい」と述べるばかり で、支払をしようとしない。
3 よって、申立人は相手方に対し、申立ての趣旨記載の請求をする。
4 なお、申立人としては、従兄である相手方が経済的苦境に陥っていること自体 は十分に理解しており、条件次第では分割払いでも応じる意思を有している。
第3. 和解あっせん人・仲裁人として選任を希望する者の氏名等 （希望する場合のみ、3名以内でご記入ください）
・氏名（ ） 資格・所属団体等（弁護士・大阪弁護士会）
・氏名（ ） 資格・所属団体等（ ）
・氏名（ ） 資格・所属団体等（ ）

※ボールペンまたは万年筆で記入して下さい。

※本申立書は相手方に送付します。